

クレディター・プレゼンテーション

2013年3月期第1四半期 決算説明資料

NOMURA

野村ホールディングス株式会社

2012年7月

© Nomura

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2013年3月期第1四半期の業績に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<http://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

- エグゼクティブ・サマリー
- 2013年3月期第1四半期決算の概要
- 営業部門、アセット・マネジメント部門、ホールセール部門
- 金融費用以外の費用
- バランスシート・マネジメント
 - 欧州周辺国へのエクスポージャー、レベル3資産等
 - 流動性ポートフォリオ
 - 調達構造
 - 強固な財務基盤
- 参考資料

決算 ハイライト

- 3四半期連続で黒字を計上
 - 収益： 3,693億円 (前四半期比：26%減、前年同期比：12%増)
 - 税前利益： 197億円 (前四半期比：68%減、前年同期比：43%減)
 - 当期純利益¹： 19億円 (前四半期比：91%減、前年同期比：89%減)

- ビジネス・セグメントの税前利益は90億円 ～ 厳しい市場環境下、営業部門、アセット・マネジメント部門共に健闘し、全社利益に貢献

バランスシート・マネジメント

- バランスシートの健全性
 - 流動性の高い、健全なバランスシート構造（資産の79%は流動性の高いトレーディング関連資産）
 - 保守的なリスク・プロファイル

- 潤沢な手元流動性を保持（流動性ポートフォリオ残高5.4兆円、総資産対比15%）

- 保守的な調達構造（無担保調達資金の約8割が長期負債、償還年限および調達先は幅広く分散）

- 強固な財務基盤を維持（2012年6月末 Tier1比率15.0%、Tier1コモン比率13.0% バーゼル2.5基準）

(1) 当社株主に帰属する当期純利益

2013年3月期決算の概要(第1四半期)

NOMURA

四半期

(10億円)	2012年3月期				2013年 3月期	前四 半期比	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計 (金融費用控除後)	330.4	301.6	404.9	499.0	369.3	-26%	+12%
営業部門	94.2	84.0	79.7	92.4	82.7	-10%	-12%
アセット・ マネジメント部門	18.8	16.0	15.3	15.7	16.4	+5%	-13%
ホールセール部門 ¹⁾	140.0	81.6	175.1	158.4	121.9	-23%	-13%
3セグメント合計	253.0	181.5	270.1	266.5	221.0	-17%	-13%
その他 ^{1,2)}	78.6	122.4	137.3	222.6	154.6	-31%	+97%
投資持分証券の 評価損益 ³⁾	-1.3	-2.4	-2.5	9.9	-6.3	-	-
金融費用以外の費用	296.0	346.2	370.5	438.2	349.6	-20%	+18%
税前利益	34.4	-44.6	34.5	60.8	19.7	-68%	-43%
3セグメント合計	13.5	-55.2	51.4	36.3	9.0	-75%	-33%
その他 ^{1,2)}	22.1	12.9	-14.5	14.6	17.0	+16%	-23%
投資持分証券の 評価損益 ³⁾	-1.3	-2.4	-2.5	9.9	-6.3	-	-
純利益(損失) ⁴⁾	17.8	-46.1	17.8	22.1	1.9	-91%	-89%

ハイライト

■ 営業部門

収益：827億円（前四半期比10%減）

税前利益：122億円（前四半期比40%減）

- 主にマーケット要因により投資信託・株式の募集買付が減少する一方で、顧客ニーズを捉え、外債販売が拡大

■ アセット・マネジメント部門

収益：164億円（前四半期比5%増）

税前利益：54億円（前四半期比30%増）

- 安定した利益を確保 ～ 投資信託・投資顧問ビジネス共に資金が流入

■ ホールセール部門

収益：1,219億円（前四半期比23%減）

税前損失：86億円

- フィクスト・インカムが相対的に健闘し、全地域で収益を牽引
- 主要市場の流動性低下や収益機会の縮小などが、エクイティ及びインベストメント・バンキングの収益に影響
- 約10億ドルのコスト削減策は、当初スケジュールを前倒して完了

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

(2) 野村土地建物の子会社化に伴う連結会社を含む。第1四半期のその他には、自社およびカウンターパーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益57億円が含まれる

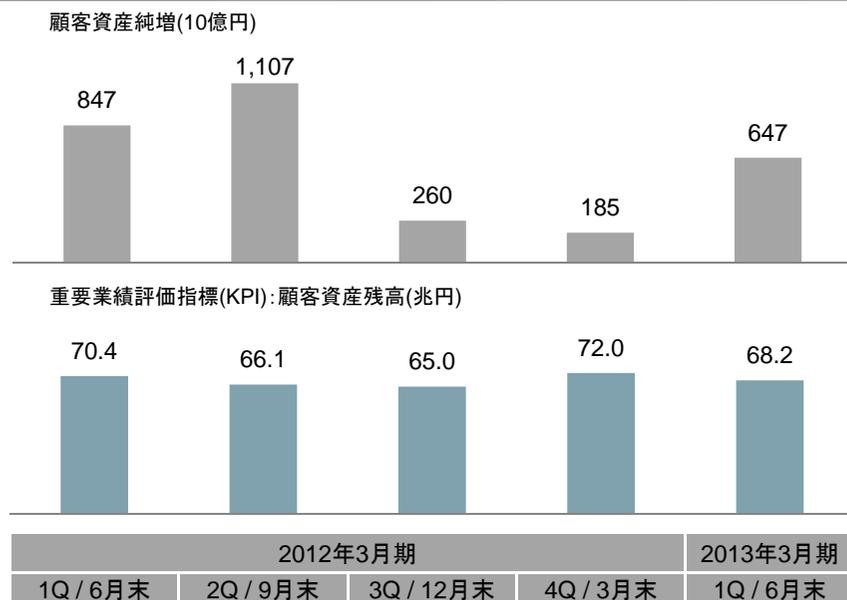
(3) 営業目的で保有する投資持分証券の評価損益

(4) 当社株主に帰属する当期純利益(損失)

収益合計(金融費用控除後)、税前提利益

(10億円)	2012年3月期				2013年 3月期	前四 半期比	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計 (金融費用控除後)	94.2	84.0	79.7	92.4	82.7	-10%	-12%
金融費用以外の費用	72.2	73.3	69.6	72.1	70.5	-2%	-2%
税前提利益	22.0	10.7	10.1	20.3	12.2	-40%	-45%

顧客資産純増¹と顧客資産残高

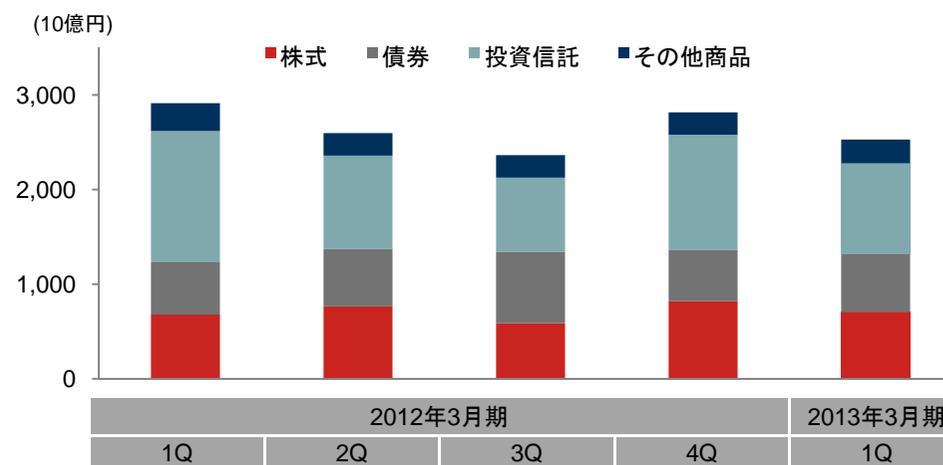


(1) 顧客資産純増＝資産流入額-資産流出額、地域金融機関分を除く

決算のポイント

- 前四半期比で減収減益: 市場環境は、大きな回復を見せた前四半期から急速に悪化し、投資家のリスク許容度が低下
 - 主にマーケット要因により、投資信託・株式の募集買付が減少
 - 顧客ニーズを捉え、外債中心に債券販売が拡大
 - コンサルティング営業を継続し、9四半期連続で顧客資産純増
- 顧客基盤
 - 顧客資産残高 68.2兆円
 - 残り顧客口座数 500万口座
 - 顧客資産純増 6,472億円

総募集買付額



収益合計(金融費用控除後)、税前提利益

(10億円)	2012年3月期				2013年 3月期	前四 半期比	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計 (金融費用控除後)	18.8	16.0	15.3	15.7	16.4	+5%	-13%
金融費用以外の費用	11.4	11.2	11.1	11.6	11.0	-5%	-3%
税前提利益	7.4	4.7	4.2	4.1	5.4	+30%	-28%

決算のポイント

- 前四半期比増収増益: 厳しい市場環境下でも安定した利益を確保
- 分配金水準の見直しを図り、投資家および販売会社に対して、分配金に関する情報開示・説明を充実～運用残高の維持に努めた

投資信託ビジネス

- 野村証券チャンネル
 - 顧客ニーズに即した多様な商品を提供し、公募株式投信を中心に資金が流入

第1四半期資金流入額

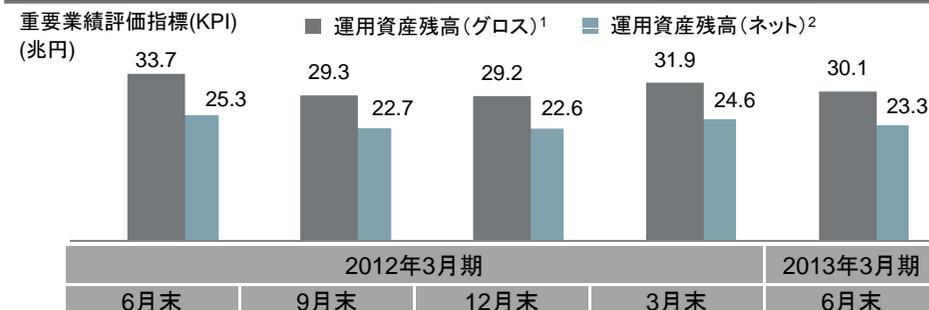
- ✓ 野村グローバルREITプレミアム: 2,346億円
- ✓ 野村米国ハイ・イールド債券投信: 686億円
- ✓ 野村日本ブランド株投資: 311億円

- 銀行チャンネル
 - 「野村新興国債券投信Aコース」の販売会社数が増加、残高が拡大
6月末残高: 1,240億円 (前四半期末比28%増)
- ETF商品「NEXT FUNDS」のラインナップ拡充
 - 日本初となる「日経レバレッジ指数」「日経インバース指数」連動型ETFを上場
 - ETF本数(合計39本) 6月末残高: 1.8兆円 (ETF残高シェア49%)

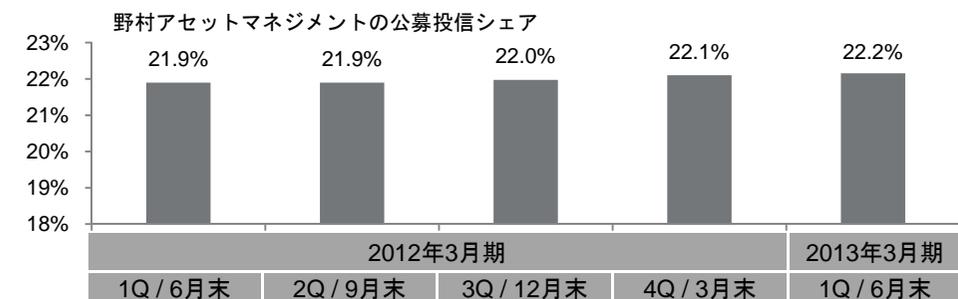
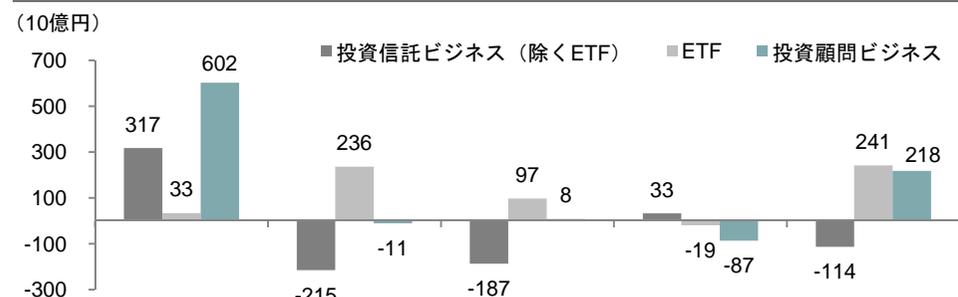
投資顧問ビジネス

- 国内外の年金およびSWFから新規受託: 2,180億円の資金流入
 - 日本株、アジア株およびグローバル債券でマニデートを獲得
 - 米国運用会社のハイ・イールド債券ファンドに欧州・アジア顧客の資金が流入

運用資産残高



投資信託・投資顧問ビジネスの資金流出入³、野村アセットマネジメントの公募投信シェア⁴

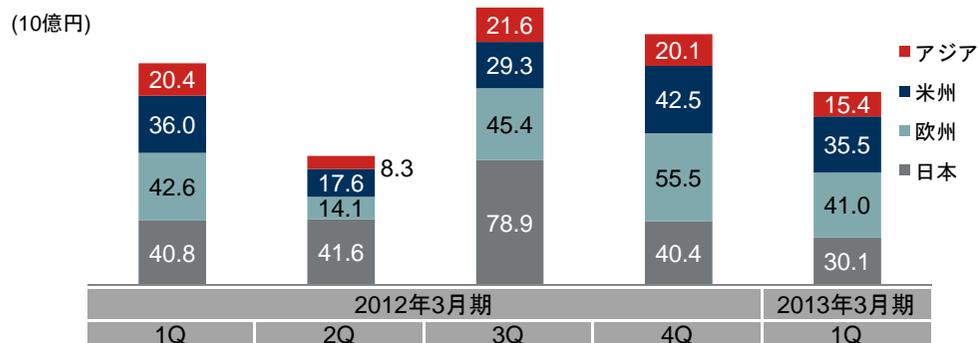


(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタル、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメ
リカの運用資産の単純合計
(2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後 (3) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入額 (4) 出所: 投資信託協会

収益合計(金融費用控除後)、税前提利益¹

(10億円)	2012年3月期				2013年 3月期	前四 半期比	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
収益合計 (金融費用控除後)	140.0	81.6	175.1	158.4	121.9	-23%	-13%
フィクスト・インカム	69.7	41.4	76.4	87.0	71.5	-18%	+2%
エクイティ	56.6	33.4	39.6	51.6	37.1	-28%	-34%
インベストメント・ バンキング(ネット)	19.0	11.6	23.6	21.2	15.1	-29%	-20%
その他	-5.4	-4.8	35.5	-1.4	-1.8	-	-
インベストメント バンキング	13.6	6.8	59.1	19.8	13.3	-33%	-2%
金融費用以外の費用	155.9	152.2	138.1	146.5	130.4	-11%	-16%
税前提利益	-15.9	-70.7	37.1	11.9	-8.6	-	-
インベストメント・ バンキング(グロス)	32.3	23.8	45.1	40.5	32.2	-21%	-0%

地域別収益¹



決算のポイント

- フィクスト・インカムが相対的に健闘し、全地域で収益を牽引
- 主要市場の流動性低下や収益機会の縮小などが、エクイティ及びインベストメント・バンキングの収益に影響
- コスト削減策を実行し、費用水準を引き下げ

フィクスト・インカム

- トレーディング環境の悪化、市場取引量の減少により、収益は前四半期比18%の減収～前年同期比では2%の増収
- 顧客ビジネスは相対的に堅調：顧客フローからの収益は前四半期比9%の減収
- プロダクト別では、マクロ経済の混乱により金利プロダクトが減収。一方、クレジットは堅調に推移し、為替・証券化商品は増収
- アジア域内・域外へのフローが増加し、アジアの収益が好調

エクイティ

- 顧客フローからの収益
 - 日本・アジア市場を中心に売買代金がさらに低迷、グローバルでのプライマリー案件の減少も影響し、前四半期比15%の減少
- トレーディング収益
 - 主要市場の流動性低下などが各地域・ストラテジーに影響
- 米州が相対的に健闘
 - キャッシュ・エクイティの収益は前四半期と同水準、米州の収益を下支え

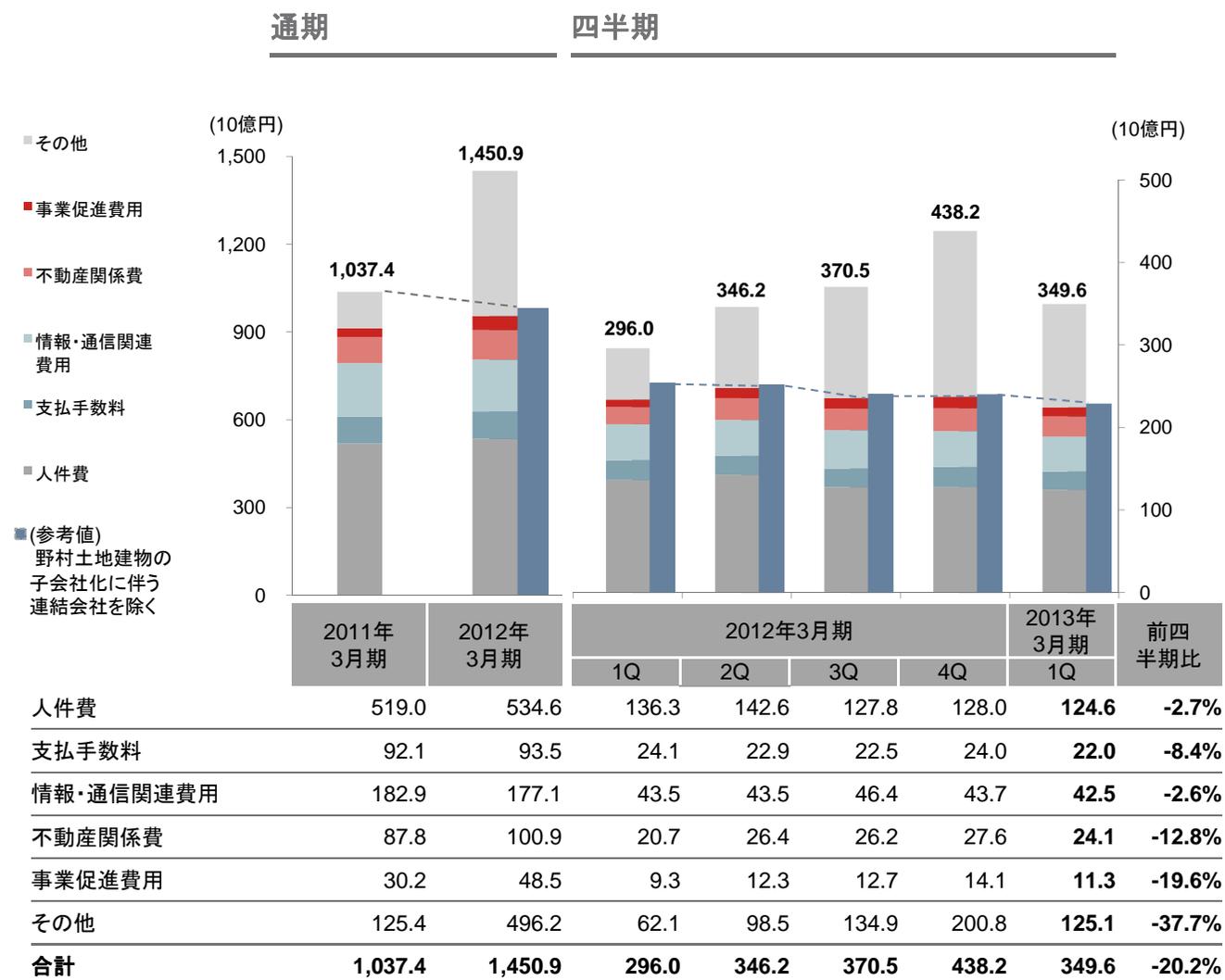
インベストメント・バンキング

- インベストメント・バンキング(グロス)収益は、前年同期並みの322億円
- グローバル・フィープール²が減少する環境下、ECMビジネスの収益機会が縮小
- 大型M&A案件に関与したほか、売り手側FAのマンデートが増加
～グローバルM&A・リーグテーブル10位³
- 日本
 - 各プロダクトで高いシェアを維持(M&A:43.9%、ECM:36.3%、DCM:25.9%)³
- 海外
 - ソリューション、スポンサー⁴向け案件、レバレッジド・ファイナンス等を執行
 - GDF SuezによるInternational Power株式取得案件が完了し、収益に寄与
 - 海通証券・香港IPOの共同主幹事～今年最大の香港IPO案件

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

(2) 出所: Dealogic (期間: 4/1～6/30) (3) 出所: M&A、ECMIはトムソン・ロイター (期間: 1/1～6/30)、DCMIはトムソン・ディールウォッチ (期間: 1/1～6/30) (4) ファイナンシャル・スポンサー

金融費用以外の費用



決算のポイント

- 金融費用以外の費用: 3,496億円 (前四半期比: 20%減)
 - 連結会社の売上原価が減少した事により、その他費用は前四半期比38%の減少
- 野村土地建物の子会社化に伴う連結会社を除くベースでは、前四半期比5%減少
 - 昨年第2四半期よりコスト削減を実行し、人件費は四半期毎に減少
 - 人件費以外の費用も、前四半期を下回る水準
- コスト削減(総額12億ドル)の進捗
 - 営業部門、アセット・マネジメント部門:
 - ✓ スケジュール通りに進捗
 - ホールセール部門:
 - ✓ 当初目標(2013年3月期下期)を前倒して完了

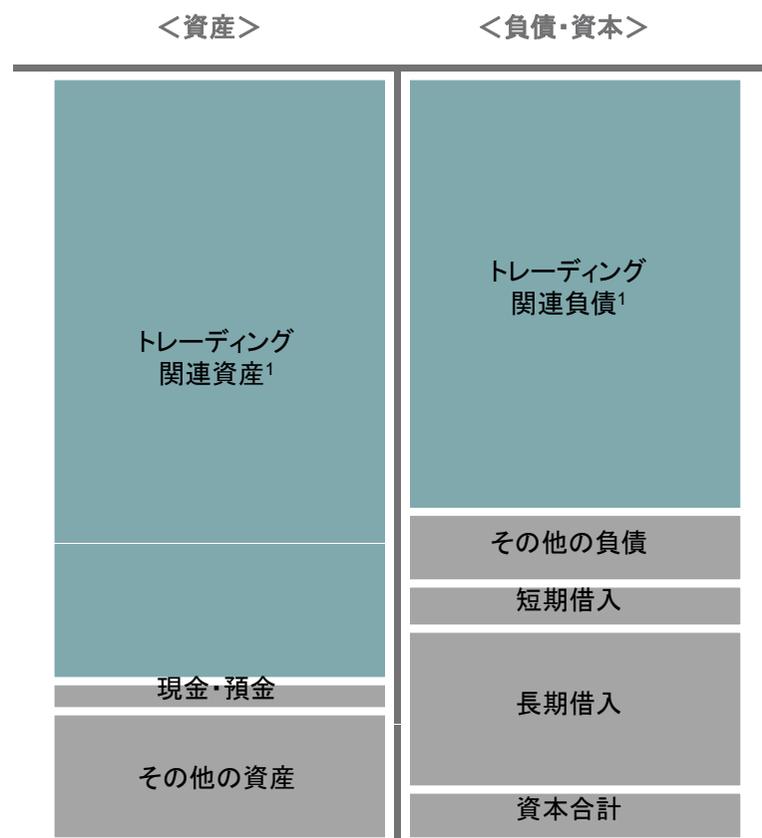
バランスシート構造

- **流動性の高い、健全なバランスシート構造**
 - 資産の79%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連資産とマッチング(地域/通貨)
 - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定
- **保守的なリスク・プロファイル**
 - GIIPS向けエクスポージャーは22.1億ドル(2012年3月末比6.3億ドル増加、2011年9月末比13.5億ドル減少)
 - レベル3資産²(デリバティブ負債相殺後)はTier1資本の29%

流動性ポートフォリオ³

- **潤沢な手元流動性**
 - 5.4兆円、総資産の15%
 - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持

貸借対照表
(2012年6月末現在)



調達構造

- **保守的な調達構造**
 - 無担保調達資金⁴の約8割が長期負債
 - 償還年限および調達先は幅広く分散

資本基盤

- **強固な資本基盤**
 - Tier1比率: 15.0%、Tier1コモン比率⁵: 13.0%(バーゼル2.5ベース)
 - グロス・レバレッジ: 16.8倍、調整後レバレッジ⁶: 10.6倍

(1) トレーディング関連資産:リバース・レポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等 (2) 暫定数値

(3) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない (4) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる

(5) Tier 1コモン比率: Tier 1資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したもの (6) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率

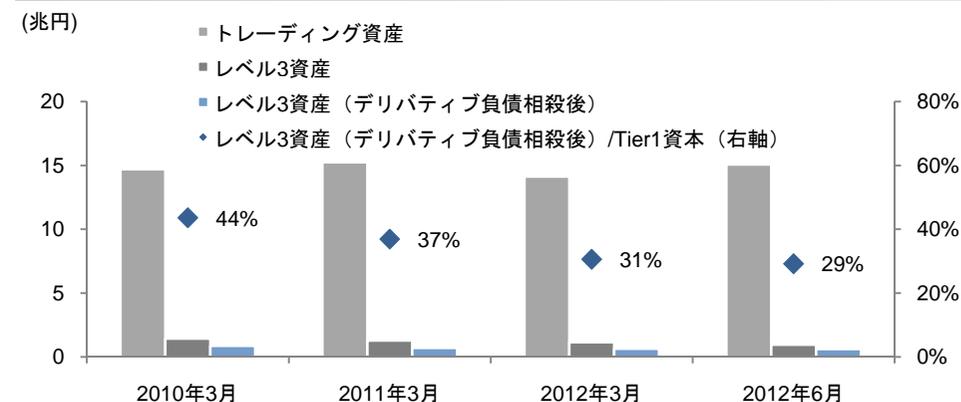
欧州周辺国へのエクスポージャー、レベル3資産等

欧州周辺国(GIIPS)のカントリー・エクスポージャー

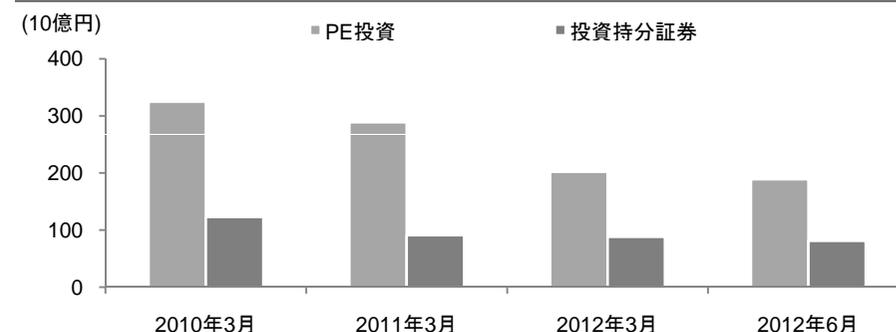
(百万ドル) (2012年6月末時点、速報値)

	インベントリー(ネット) ¹			カウンターパーティ(ネット)			ネット・エクスポージャー合計	2012年3月末からの変動	2011年9月末からの変動
	合計	うち、6ヶ月以内	うち、6ヶ月超	合計	うち、カウンターパーティ ²	うち、引当/ヘッジ等			
ギリシャ	34	11	23	38	94	-55	72	-22	26
アイルランド	208	145	62	20	23	-3	227	-192	-80
イタリア	1,145	994	151	-58	379	-437	1,088	102	-1,727
ポルトガル	-101	72	-173	-12	163	-175	-113	89	-34
スペイン	749	655	94	186	325	-140	935	657	470
欧州周辺国 - 合計	2,035	1,878	157	174	984	-810	2,209	633	-1,345

レベル3資産³の推移と対Tier 1資本比率



プライベートエクイティ/投資持分証券



■ 欧州周辺国へのネット・カントリー・エクスポージャー

- 6月末時点では22.1億ドル(2012年3月末比6.3億ドル増加、2011年9月末比13.5億ドル減少)。インベントリーは全てトレーディング資産として保有しており、Mark-to-marketの対象。ネットインベントリーの90%超は、6ヶ月以内の短期エクスポージャー

■ 低流動性資産の削減

- Tier1資本に占めるレベル3資産(デリバティブ負債相殺後)は29%、プライベート・エクイティおよび投資持分証券についても引続き低水準

(1) ロング・ショートをネットした商品在庫 (2) レポ取引、株券貸借取引、OTCデリバティブ等(受入担保価値控除後) (3) 暫定数値

流動性管理

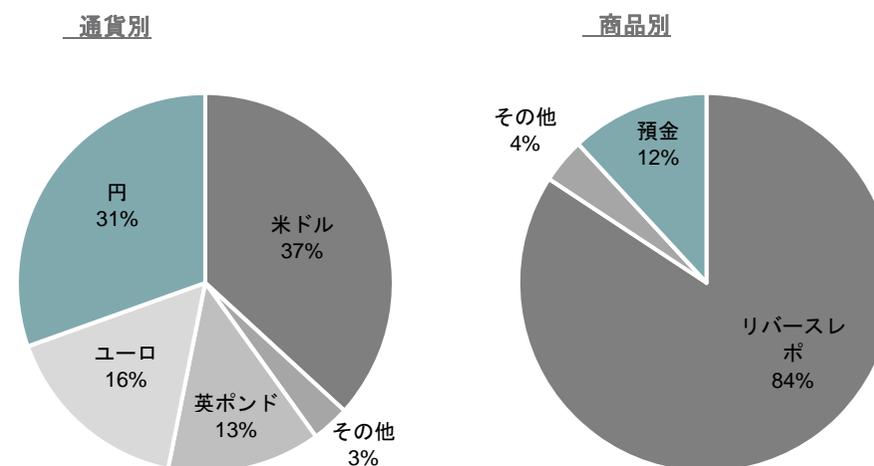
- 流動性ストレステスト ~ リスク許容範囲を定量的に規定
 - 以下のようなマーケット全体に対するストレスや自社の信用にストレスが掛かる状況においても、一定期間事業を維持できるような流動性を常時保持することを目的として、日次でストレステストを実施

- 主なシナリオ・前提
 - 追加の無担保調達を行うことができない状況
 - 既存のレポ調達時の担保掛目の拡大
 - 決済銀行からの担保・預託金追加要求
 - コミットメント提供先のドローダウン
 - 損失に伴う資金の喪失
 - 信用格付格下げ時の担保等の想定流出額 等

- 流動性ポートフォリオの構成
 - 流動性ポートフォリオについては、日・米・独・英の国債を中心としたリバースレポ、現預金等で運用
 - 欧州周辺国(GIIPS)関連資産での運用はなし

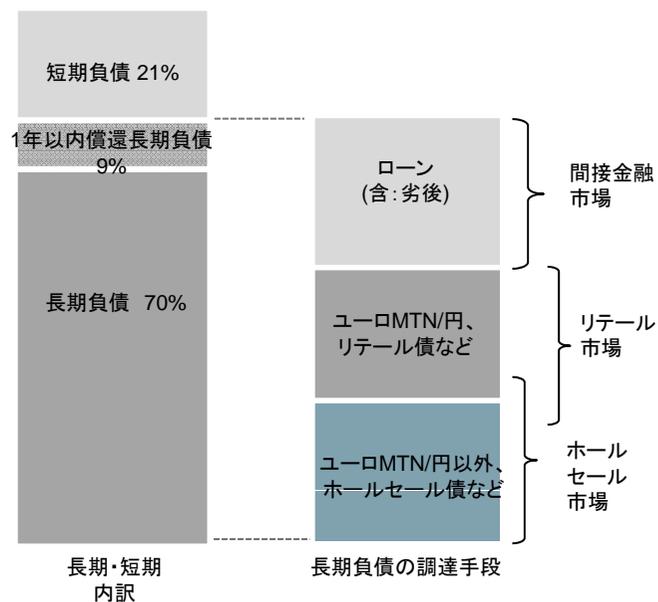
流動性ポートフォリオ¹: 5.4兆円(\$67bn)、総資産の15%相当

構成比 (2012年6月)

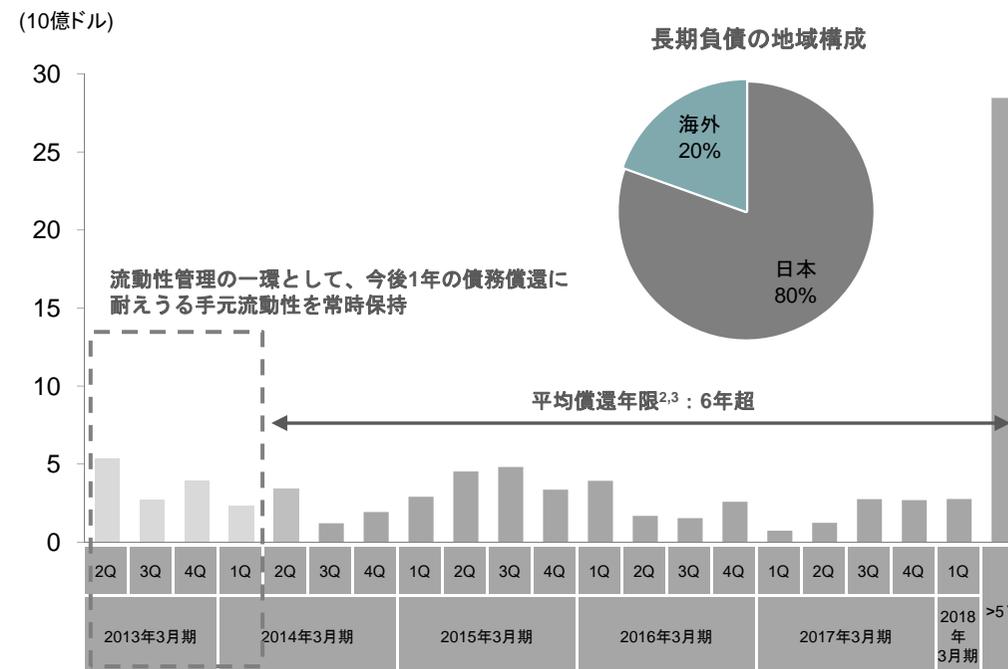


(1) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない

無担保調達資金¹: 約8割が長期負債、調達先は分散



長期負債償還年限²



■ 保守的な調達構造

- 無担保調達資金は約8割が長期負債で構成されており、償還時期は分散、かつ平均償還年限^{2,3}は6年超と安定的
- 調達先についても、間接金融、リテール市場、ホールセール市場とほぼ均等に分散
- 第1四半期において、合計981億円の公募社債を発行

(1) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる

(2) ストレスシナリオでの早期償還確率を織り込む

(3) 1年以内償還長期負債を除く

バランス・シート関連指標と自己資本比率

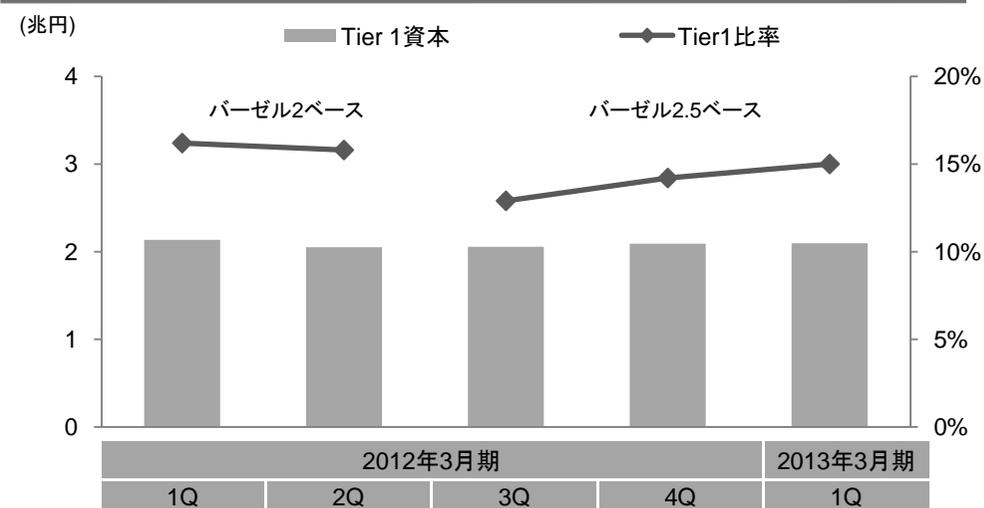
	(2011年3月)	(2012年3月)	(2012年6月)
■ 資産合計	36.7兆円	35.7兆円	35.3兆円
■ 当社株主資本	2.1兆円	2.1兆円	2.1兆円
■ グロス・レバレッジ	17.6倍	16.9倍	16.8倍
調整後レバレッジ ¹	10.3倍	10.4倍	10.6倍

(10億円)

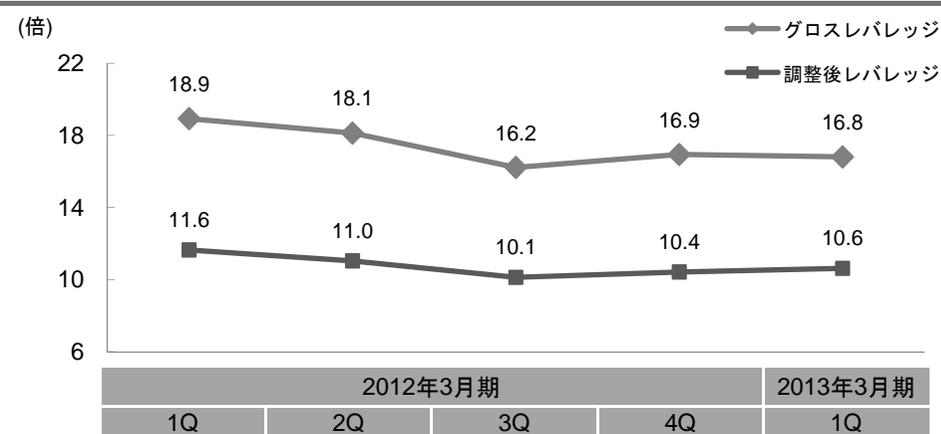
速報値	バーゼル2.5ベース	3月末	6月末
	Tier 1	2,090	2,097
	Tier 2	320	320
	Tier 3	224	210
	自己資本合計	2,427	2,426
	リスク調整後資産	14,681	13,941
	Tier 1 比率	14.2%	15.0%
	Tier 1 コモン比率 ³	12.2%	13.0%
	自己資本比率	16.5%	17.4%

- (1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 (2) 2011年12月末よりバーゼル2.5ベース
 (3) Tier 1 コモン比率: Tier 1 資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したもの

Tier 1 資本、Tier 1 比率²



グロス・レバレッジ、調整後レバレッジ¹



NOMURA



参考資料

バランス・シート関連データ

NOMURA

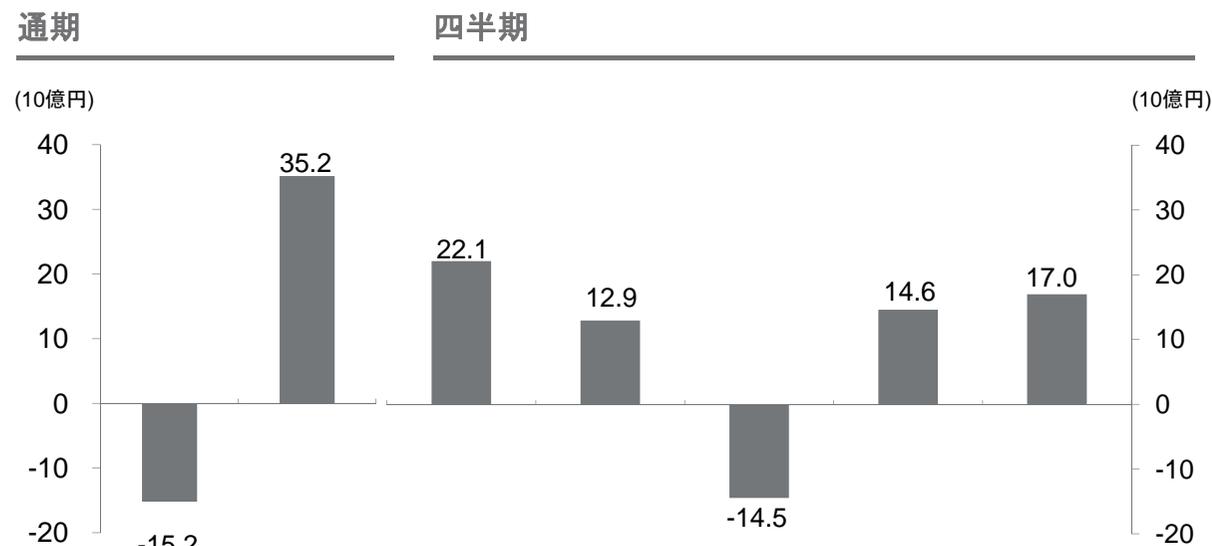
	(単位:百万円)		
	2013年3月期 第1四半期 (2012.6.30)	前 期 (2012.3.31)	前期比増減
資産			
現金・預金:			
現金および現金同等物	693,713	1,070,520	△ 376,807
定期預金	529,809	653,462	△ 123,653
取引所預託金およびその他の顧客分別金	163,880	229,695	△ 65,815
計	1,387,402	1,953,677	△ 566,275
貸付金および受取債権:			
貸付金	1,113,721	1,293,372	△ 179,651
顧客に対する受取債権	127,334	58,310	69,024
顧客以外に対する受取債権	866,230	864,629	1,601
貸倒引当金	△ 4,738	△ 4,888	150
計	2,102,547	2,211,423	△ 108,876
担保付契約:			
売戻条件付買入有価証券	8,194,771	7,662,748	532,023
借入有価証券担保金	4,802,722	6,079,898	△ 1,277,176
計	12,997,493	13,742,646	△ 745,153
トレーディング資産およびプライベート・エクイティ投資:			
トレーディング資産※	14,875,983	13,921,639	954,344
プライベート・エクイティ投資	189,180	201,955	△ 12,775
計	15,065,163	14,123,594	941,569
その他の資産:			
建物、土地、器具備品および設備 (2012年 6月30日現在 362,638 百万円、 2012年 3月31日現在 355,804 百万円の減価償却累計額控除後)	1,049,113	1,045,950	3,163
トレーディング目的以外の負債証券※	913,356	862,758	50,598
投資持分証券※	81,113	88,187	△ 7,074
関連会社に対する投資および貸付金※	195,629	193,954	1,675
その他	1,462,526	1,475,123	△ 12,597
計	3,701,737	3,665,972	35,765
資産合計	35,254,342	35,697,312	△ 442,970

※担保差入有価証券を含む

	(単位:百万円)		
	2013年3月期 第1四半期 (2012.6.30)	前 期 (2012.3.31)	前期比増減
負債および資本			
短期借入	1,244,472	1,185,613	58,859
支払債務および受入預金:			
顧客に対する支払債務	972,616	764,857	207,759
顧客以外に対する支払債務	350,635	767,860	△ 417,225
受入銀行預金	870,613	904,653	△ 34,040
計	2,193,864	2,437,370	△ 243,506
担保付調達:			
買戻条件付売却有価証券	10,932,321	9,928,293	1,004,028
貸付有価証券担保金	1,893,186	1,700,029	193,157
その他の担保付借入	869,256	890,952	△ 21,696
計	13,694,763	12,519,274	1,175,489
トレーディング負債	6,380,840	7,495,177	△ 1,114,337
その他の負債	1,101,734	1,165,901	△ 64,167
長期借入	8,249,812	8,504,840	△ 255,028
負債合計	32,865,485	33,308,175	△ 442,690
資本			
当社株主資本:			
資本金			
授権株式数 -	6,000,000,000株		
発行済株式数 -	2012年 6月30日現在 3,822,562,601株 2012年 3月31日現在 3,822,562,601株		
発行済株式数 (自己株式控除後) -	2012年 6月30日現在 3,688,543,513株 2012年 3月31日現在 3,663,483,895株	594,493	594,493
資本剰余金	689,130	698,771	△ 9,641
利益剰余金	1,060,836	1,058,945	1,891
累積的その他の包括利益	△ 160,346	△ 145,149	△ 15,197
計	2,184,113	2,207,060	△ 22,947
自己株式(取得価額)			
自己株式数 -	2012年 6月30日現在 134,019,088株 2012年 3月31日現在 159,078,706株	△ 84,390	△ 99,819
当社株主資本合計	2,099,723	2,107,241	△ 7,518
非支配持分	289,134	281,896	7,238
資本合計	2,388,857	2,389,137	△ 280
負債および資本合計	35,254,342	35,697,312	△ 442,970

(10億円)	通期		四半期				
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期				2013年3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
収益							
委託・投信募集手数料	405.5	347.1	96.8	85.9	74.0	90.4	77.4
投資銀行業務手数料	107.0	59.6	13.8	13.8	17.2	14.8	10.4
アセットマネジメント業務手数料	143.9	144.3	39.1	36.7	33.4	35.1	33.8
トレーディング損益	336.5	272.6	67.5	26.0	80.1	98.9	84.4
プライベート・エクイティ投資関連損益	19.3	25.1	-6.0	-2.3	34.6	-1.2	-5.4
金融収益	346.1	435.9	133.1	107.3	103.1	92.4	103.5
投資持分証券関連損益	-16.7	4.0	-0.6	-2.5	-2.8	9.9	-7.1
その他	43.9	563.2	83.4	113.0	141.9	225.0	142.6
収益合計	1,385.5	1,851.8	427.0	377.8	481.5	565.4	439.6
金融費用	254.8	315.9	96.6	76.3	76.6	66.4	70.3
収益合計(金融費用控除後)	1,130.7	1,535.9	330.4	301.6	404.9	499.0	369.3
金融費用以外の費用	1,037.4	1,450.9	296.0	346.2	370.5	438.2	349.6
税引前当期純利益(損失)	93.3	85.0	34.4	-44.6	34.5	60.8	19.7
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	28.7	11.6	17.8	-46.1	17.8	22.1	1.9

税前提利益(損失)



	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期				2013年 3月期
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	2.3	8.4	-1.5	4.2	7.7	-2.1	-1.2
営業目的で保有する投資持分証券の 実現損益	0.2	0.2	0.7	-0.2	-0.3	0.0	-0.7
関連会社損益の持分額	9.0	10.6	3.5	2.0	1.3	3.9	1.3
本社勘定 ¹	-34.5	-32.1	12.6	-8.6	-29.0	-7.1	6.6
その他 ^{1,2}	7.8	48.1	6.8	15.5	5.8	19.9	11.1
税前提利益(損失)	-15.2	35.2	22.1	12.9	-14.5	14.6	17.0

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

(2) 2011年4月の組織改正に伴いアセット・マネジメント部門およびその他を組み替えて表示

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 片側99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2012.4.1~2012.6.29
- 最大 : 7.2
- 最小 : 4.3
- 平均 : 5.5

(10億円)	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末	2012年 3月末	2012年 6月末
株式関連	1.8	1.6	1.9	1.5	1.4	1.2
金利関連	4.1	4.3	4.0	5.0	6.5	5.7
為替関連	4.5	3.8	2.8	3.5	2.5	1.7
小計	10.4	9.7	8.8	10.0	10.4	8.6
分散効果	-4.1	-3.7	-3.6	-3.6	-3.2	-3.2
連結VaR	6.3	6.0	5.2	6.4	7.2	5.4

	2011年3月末	2011年6月末	2011年9月末	2011年12月末	2012年3月末	2012年6月末
日本(FA除く) ¹	12,829	20,263	20,105	19,882	19,598	20,197
FA社員	2,089	2,096	2,078	2,048	2,011	2,014
欧州	4,353	4,436	4,492	4,143	4,014	3,975
米州	2,348	2,383	2,537	2,466	2,420	2,423
アジア・オセアニア ²	5,252	6,452	6,485	6,394	6,352	6,454
合計	26,871	35,630	35,697	34,933	34,395	35,063

(1) プライベート・エクイティ投資先企業等の人員数は含まない

(2) インド(ボワイ・オフィス)を含む

2012年7月30日現在	Standard & Poor's	Moody's ¹	格付投資情報センター(R&I)	日本格付研究所(JCR)
野村ホールディングス株式会社				
長期格付	BBB+	Baa3	A+	AA-
短期格付	A-2	-	a-1	-
見通し	安定的	安定的	ネガティブ	安定的
野村證券株式会社				
長期格付	A-	Baa2	A+	AA-
短期格付	A-2	P-2	a-1	-
見通し	安定的	安定的	ネガティブ	安定的
野村信託銀行株式会社				
長期格付	A-	-	-	AA-
短期格付	A-2	-	a-1	-
見通し	安定的	-	-	安定的
ノムラ・バンク・インターナショナル PLC				
長期格付	A-	-	-	AA-
短期格付	A-2	-	-	-
見通し	安定的	-	-	安定的

(1) Moody's Investors Serviceは、日本の金融商品取引法上の登録を受けた信用格付業者ではありません。